

3年 前期 道徳通信

3 学年道徳担当

この通信では、田代中学校 3 年生の道徳の取り組みを紹介していきます。
道徳の授業は担任だけでなく、3 年職員全員で毎週授業を行っています。
道徳通信を通して、ご家庭でも道徳について話題にしていただけると幸いです。
その中で生徒の学びを紹介したいと思います。

資料名：卒業文集最後の 2 行 テーマ 公正、公平、社会正義

いじめがいかに非常であるかを理解し、差別や偏見を人間としてぜったいに許さない態度を育てることをねらいとしています。

あらすじ

小学校時代に T 子さんへのいじめを繰り返した自分の非常な行為を、三十年以上経た今でも深い心の傷として公開するさんげの手記です。主人公や T 子さんの気持ちを考えながら学習をおこないました。

この文を読んで改めていじめはいけないと思った。自分が後から深く後悔しても相手はすごくつらいことだと思っから、自分が正直な気持ちになり素直にあやまることが大切だと思った。

この教材をとおしていじめは絶対にゆるされないことを改めてした。また、いじめはされる側だけじゃなくする側も後のち後悔することも改めてした。

自分のいじめは相手には大きな傷を残すことであつから人を後悔しないようにしようと思った。自分の言葉・行動に気をつけて、先をみて行動しようと思った。

自分が思っているよりも「これぐらいならば大丈夫だろう」とか、相手の気持ちを考えず人をきまづけてした。相手かばらんでいるのをほっといて、最後にこういふ。ことに、相手の気持ちを考え、行動しようと思った。

資料名：銀メダルから得たもの テーマ：希望と勇気、克己と強い意志

より高い目標を設定し、その実現のために努力や希望・勇気の必要性を理解するとともに、困難や失敗を乗り越えてやり遂げようとする実践意欲を高めることねらいとしています。

あらすじ

レスリング選手の吉田沙保里は、4連覇をかけて戦ったリオデジャネイロオリンピック決勝で残念ながら敗北してしまいました。帰国後のインタビューで吉田選手は、「今は銀メダルでよかったと思っています」と語る姿から、より高い目標を目指すことについて考えました。

私は、いろんな場面でたくさんのごせつをするときがある。そのとき私は、おぼろげに、おぼろげに。けど、この話を読んで、初心に戻ることの大切さを学んだ。

勝ち続けるや、何か調子が悪い時に、負けてしまうと、負けてしまった人の気持ち分かるようになって、気持ちか通い合うことができる。そして、最大の敵は自分。

負けはかたし、勝つは味わさずにはなれないかあると思いました。その悔しさをバネにわが国に力をつけていく事はカッコイイ事だと思います。

その他にも3年生では前期は以下のような道徳を各クラスで行いました。

教材名	テーマ
風に立つライオン	よりよく生きる喜び
出迎え三步、見送り七歩	礼儀
命のトランジットピザ	国際理解、国際貢献
エリカー奇跡のいのち	生命の尊さ
私も高校生	自主、自律、自由と責任
あるレシ打ちの女性	勤労
新しい夏のはじまり	向上心、個性の伸長